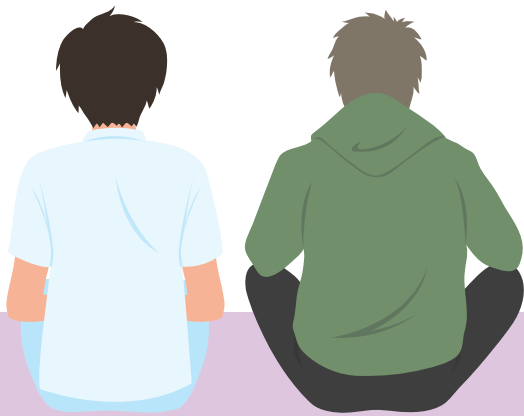


# JJAOT

2024  
11

The Journal of Japanese Association of Occupational Therapists (JJAOT)  
日本作業療法士協会誌



## 公示（役員選挙と会長候補者投票について）

### トピックス

## パリ2024パラリンピック競技大会 出場・同行報告

【生涯教育制度 他団体・SIGポイント申請】  
申請したポイントはきちんと登録されていますか？

MTDLP事例報告登録の受付終了について

第6回児童福祉領域の作業療法士意見交換会 開催報告



自分が並べた商品を買ってくれる人がいる。

自分の考えや感情がまとまらず、緊張するほど何もできなくなってしまう。そんな精神障害のある20代の彼女が、スーパーで働き始めてから一ヶ月。最初は週一回でもつかれて大変そうでしたが、作業療法士が、彼女にとってつらくならない仕事のやり方を一緒に考えたり、まわりの人とのコミュニケーションを手伝っていくうちに、少しずつできることが増えてきています。

並べた野菜を買ってくださるお客さんを見るのが嬉しいと、最近は調子がよさそう。

「うまくできるようになったね。なんだか、いい顔になってるね。」

一緒に働く人たちからも売り場の一員として認められてきて、それも自信につながっているようです。

なかなか難しかったお客さんとの会話にも挑戦中。

「今日のおすすめは？」

「白菜がおいしいですよ！」

共に働く社会を支える、  
作業療法の就労支援。



一般社団法人  
日本作業療法士協会  
Japanese Association of Occupational Therapists

[www.jaot.or.jp](http://www.jaot.or.jp)

一般社団法人 日本作業療法士協会 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル TEL.03-5826-7871

ひとは作業をする事で  
元気になる

### 2 公示（役員選挙と会長候補者投票について）

#### トピックス

- 5 パリ 2024 パラリンピック競技大会 出場・同行報告
- 12 生涯教育制度 他団体・SIG ポイント申請  
申請したポイントは登録されていますか？
- 13 MTDLP 事例報告登録の受付終了について
- 16 第 6 回児童福祉領域の作業療法士意見交換会 開催報告
- 20 2024 年度第 4 回定例理事会 理事会レポート
- 21 事務局からのお知らせ

#### 連載

- 10 2025 年 4 月から新生涯学修制度がスタートします！  
～選ばれる作業療法士になるために～③  
▶ のぞいてみよう、生涯学修制度～ YouTube や協会ホームページにて情報公開中～
- 14 誰もが主役 多様な協会へ④
- 18 地域共生社会の構築に貢献する作業療法士③  
▶ DDA を取得して障害者の IT 支援に取り組もう

### 22 2024 年度第 4 回定例理事会 抄録

### 24 各部・室の動き／かがやきプロジェクト オンラインイベントのお知らせ

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 25 協会主催研修会案内    | 31 本誌について重要なお知らせ：      |
| 28 催物・企画案内      | 第 154 号は電子書籍として発行いたします |
| 29 求人広告／計報連絡    | 32 編集後記                |
| 30 日本作業療法士連盟だより |                        |





# 公示（役員選挙と会長候補者投票について）

2024 年 11 月 13 日

正 会 員

一般社団法人日本作業療法士協会  
選挙管理委員会

## 役員選挙の施行について（公示）

一般社団法人日本作業療法士協会定款第 28 条に基づき、2025 年 5 月の定時社員総会にて任期満了となる役員の改選を行います。つきましては、役員への立候補を下記要領で受け付けます。任期は、理事については 2025 年度定時社員総会から 2027 年度定時社員総会までの 2 年間、監事については 2025 年度定時社員総会から 2029 年度定時社員総会までの 4 年間です。

役員の選任は、定款第 15 条及び第 25 条さらに定款施行規則第 21 条に基づき、社員総会において行われます。また会長の選定は、定款第 15 条及び定款施行規則第 22 条に基づき、社員総会にて選出した候補者を理事会へ意見として提出された後に、理事会において行われます。

なお、今回の役員選挙よりジェンダーに着目した候補者クォータ制を導入します。

## 記

### 1 改選する役職名と定数

- ・ 理事 20 名以上 24 名以内
- ・ 監事 2 名以上 3 名以内
- ・ 会長候補 1 名

### 2 立候補の方法について

「立候補希望連絡」と「立候補申請」の、2 段階の手続きが必要です。

**(1) 立候補希望者は、立候補希望の旨を日本作業療法士協会事務局（以下、事務局）へ連絡してください。**

①下記の要領に従って、立候補希望の旨を専用フォームにて連絡してください。

- ・ 立候補希望の連絡受付期間 2024 年 11 月 18 日（月）正午～12 月 9 日（月）17 時 00 分
- ・ 立候補希望の連絡専用フォーム



●立候補希望の連絡専用フォームはこちら

<https://forms.gle/2BJz2tSAyW1HP7T38>



・フォームに記載する内容：会員番号、氏名、性別、生年月日、勤務施設、メールアドレス  
電話番号（事務局より確認が必要な際に連絡が取りやすいもの）

② 2024 年度分の年会費納入が確認できない場合、立候補の希望は受付できません。

未納の方は納入を済ませてからフォームを送信してください。

※ご自身の納入状況は、協会ホームページ→会員ポータルサイト→会員情報で確認することができます。

(2) 受付完了の人には、事務局より立候補希望受付済みの電子メールを送ります。

(3) 12 月 19 日に、委託業者より立候補 Web 申請用の ID/ パスワードを電子メールで送ります。

ID/ パスワードの送付は、上記 (2) の受付完了のメールを送った立候補希望者のみとなります。

(4) Web 選挙サイトで立候補の Web 申請をしてください。

立候補申請の受付期間 2025 年 1 月 8 日 (水) 0 時 00 分～1 月 29 日 (水) 23 時 59 分

① Web 選挙サイト (i-Vote) へアクセスし、申請用の ID/ パスワードでログインしてください。

② 理事または監事に立候補する場合は、候補申請の画面で選挙名「役員選挙 (理事)」または「役員選挙 (監事)」を選択し、必要項目を入力してください。

③ 会長候補に立候補する場合は、理事と会長候補の二つの立候補申請が必要です。「役員選挙 (理事)」で理事の申請を行った後に、候補申請の画面で選挙名「会長候補者投票」を選択し申請手続きをしてください。

④ 候補者申請の画面では、項目に沿って入力してください。なお、入力された内容は、そのまま選挙公報として公表されますので、入力が任意の項目についても、なるべく入力するようお願いします。

#### 入力する項目

・写真【必須】… 正面、無帽、胸上までの顔写真で、6 ヶ月以内の撮影。本人以外の人物や物が写らないようにしてください。画像形式は jpg、gif、png。サイズは 2MB 以内。トリミング可能最大サイズは (幅) 180 × (高さ) 240px。元データの画質により画質が低下する場合がありますのでご確認ください。なお、顔写真の掲載を希望しない場合は、印字した氏名を撮影し、それを顔写真に替えて下さい。

・年齢【必須】… 数字を入力してください。

・性別【必須】… 男性または女性を選択してください。

・所属都道府県【必須】… 該当するものを選択入力してください。

・勤務施設 (任意) … 40 字以内。文字フォントは一定となります。

・立候補の趣旨 (任意) … 700 字以内。文字フォントは一定となります。

・略歴 (任意) … 300 字以内。文字フォントは一定となります。

※申請の方法については、協会ホームページに掲載の「立候補申請マニュアル」も参照してください。

⑥ 入力した内容を確認画面で確認し、「申請」ボタンを押すことで申請は完了となります。

⑦ 選挙管理委員会で内容を確認した後に、申請受理となります。受理結果については、Web 選挙サイト (i-Vote) において各自で確認してください。申請内容に不備等がある場合は、選挙管理委員会より連絡いたします。

⑧ 顔写真と立候補の趣旨文、略歴については、データ管理のため、事務局にもメールで別送してください。

宛名 : 一般社団法人日本作業療法士協会 選挙管理委員会

件名 : 役員選挙立候補

本文 : 会員番号、氏名を必ず記載してください。

ファイル形式 : 顔写真は、jpg、gif、png。立候補の趣意文と略歴は word (.docx)。

電子メールアドレス : senkyo2025@jaot.or.jp

締切り : 2025 年 2 月 1 日 (土)

### 3 立候補の受理結果についての公表

受理した立候補者については、2025 年 1 月 31 日付けで協会ホームページにて報告します。

### 4 投票について

- ・投票権は社員（代議員）にあります。投票期日については、2025 年 3 月 27 日付けで告示します。
- ・告示は社員（代議員）にのみ送付します。また協会ホームページにも掲載します。

### 5 選挙公報について

- ・社員（代議員）には、顔写真付きの選挙公報を送付します。
- ・協会ホームページには、顔写真なしの選挙公報を掲載します。

### 6 選挙運動について

立候補者および正会員は、役員選出規程第 33 条から第 36 条に基づき、選挙運動を行うことができます。

#### ●問い合わせ先

一般社団法人日本作業療法士協会 選挙管理委員会

senkyo2025@jaot.or.jp

## パリ 2024 パラリンピック競技大会 出場・同行報告

2024 年 8 月 28 日から 9 月 8 日の 12 日間、フランスでパリ 2024 パラリンピック競技大会が開催されました。多数の本会会員が、選手を支える立場でパラリンピックにかかわっています。そして今大会では、作業療法士としても活躍しながら選手として出場した会員もいます。パリ大会への出場を目標に長年練習を重ねてきた松本武尊選手（陸上）、パラローイング選手を支えてきたトレーナーの三木孝太氏にパリ大会に出場・同行のご報告をいただきました。

### パリパラリンピックに出場して ～パラリンピックの今とこれから～

季美の森リハビリテーション病院 松本 武尊

#### フランス入り

フランスで開催されたパリパラリンピックは 2024 年 8 月 28 日に開幕し、2024 年 9 月 8 日に閉幕を迎えました。陸上競技に日本代表として出場したため、報告します。

陸上競技日本代表としてのフランスへの渡航期間は、8 月 20 日～9 月 11 日でした。8 月 20 日～25 日まではフランス・アミアン市で事前合宿を行いました。アミアン市からの歓迎を受け、アミアン市のホテルに泊まりました。ホテルからバスで約 10 分のところに陸上競技場が位置しており、移動は楽でした。気候も良く、日本のジメジメとした暑さは感じられません。午前中の早い時間帯や夕方などは肌寒く感じることもあり、防寒対策も重要だったと思いました。食事では昼食・夜食で白米が提供され、アスリートに大切な塩分調整もされていました。

そして、8 月 25 日～9 月 10 日はいよいよ選手村で過ごします。選手村には、選手が居住する居住棟、ダイニングホール、フィットネスセンター、美容室、ネイルサロン等の施設が揃っていました。必要とするものがすぐ手に入る環境が整えられていて、競技に集中できるので良かったです。

今回のパリパラリンピックには全世界から約 4,400 人の選手が参加することになりました。日本は陸上競技選手・水泳選手・卓球選手等、合計約 170 名の選手で

臨むことになります。選手以外にも、競技パートナーや競技別スタッフ、本部スタッフが配置されており、選手が最高のパフォーマンスができるようサポートしてくれる方々が多かったです。

#### 私の参加競技

陸上競技はスタッド・ド・フランスというフランス国内最大級の競技場で開催されました。すごく大きな競技場だということを感じつつも、もう一つ驚いたことがありました。それは陸上トラックの色が紫色だったことです。日本ではブルータータン（編注：タータンとは、陸上競技で用いられるゴム製のトラックのこと）が使用されてきていますが、紫色のタータンは初めて見るものでした。

初めての紫のタータンを走ったパリパラリンピック陸上 T36 400 m。「T36」という言葉に馴染みがない方も多いと思います。パラ陸上には障害に応じた「クラス」が存在しており、そのクラスに応じて選手同士が競い合っていくことになります。例にあげると、T36 の「T」の部分は競技場所を意味します。トラック競技の「T」です。ほかにも、フィールド競技の「F」もあります。そして、「36」は脳原性麻痺の分類です。30 番台が脳原性麻痺のカテゴリーで、35～38 が立位で競技をする脳原性麻痺です。35～38 の違いは障害の程度で、数字が大きくな



写真 1 選手村外で食べた最初で最後の食事



写真 2 普段の練習場所

るにつれて障害が軽い判定となります。このようなクラス分けは国際的に認められた国際クラシファイアーという方たちが行うものであり、クラス分けを行うための必要な知識・技術をもち、資格を取得しています。選手を適切にクラス分けすることで個々の障害が競技に及ぼす影響をできるだけ小さくし、平等に競い合うことができるようになるというわけです。

### 綿密な戦略で臨む 400m

それでは今回の 400m とユニバーサルリレーの戦略を報告します。400m では、今大会に出場するであろう各選手の 400m 自己ベスト・シーズンベストを調べました。そして、メダル圏内になるであろうタイムを推測しました。そのタイムとは 54"5 です。

このタイムを基準に、0 ～ 100m、100 ～ 200m、200 ～ 300m、300 ～ 400m と 100m ごとに区間のペースを考えました。400m をすべて同じスピードで走ることは不可能に近いのです。単に 4 等分するのではなく、100m 間隔でスピードを設定していくことが大事になってくると考えています。今大会の 400m では、100m の自己ベスト 12"1 を基に、0 ～ 100m を 13 秒、100 ～ 200m を 12.5 秒、200 ～ 300m を 13.5 秒、300 ～ 400m を 15.5 秒、合計 54"5 で設定しました。54"5 は自己ベストよりも速いタイムですが、これまでがむしやりに走っていたことを考えると不可能ではないと考えました。0 ～ 100m までいかに楽にスピードを上げられるか、100 ～ 200m でこれまでのスピードを落とさず楽に維持

できるか——前半部分では楽に走ることを念頭に置いていました。そのため、フランス滞在中は 200m の練習を重点的に行いました。レース本番を見据えて楽に 200m を走ることを意識して、反復練習し、身体に覚え込ませていくようにしました。

このように練りに練った作戦でしたが、今レースは 4 位という結果に終わりました。3 位との差は 0.03 秒。すごく悔しい結果になりました。分析結果によると、各区分では設定タイム通りの走りになっていました。では、何が原因で今回の結果になったのか。1 つ目に、パラリンピックという大舞台に向けて選手一人ひとりが実力を伸ばしており、これを想定することが難しかったこと。2 つ目に、200 ～ 300m にかけての区間ペースに問題があったこと。改善策としては 2 点考えられます。1 つ目に、100m の疾走タイムを向上させ、各区分の設定タイムを変更すること。2 つ目に、400m を 4 区分に分けるのではなく、3 区分に分けることです。1 区間目を 0 ～ 100m、2 区間目を 100m ～ 250m、3 区間目を 250 ～ 400m にします。前述したように 200m ～ 300m にかけてに問題があったとするならばこのように分けることが最善の策なのではないかと思いました。

### 好走するも高い世界の壁

次にユニバーサルリレーです。まずは競技について紹介します。このリレーでは、男性選手 2 名と女性選手 2 名が走ります。1 走が視覚障害、2 走が切断等の機能障害、3 走が脳性麻痺、4 走が車椅子の走順で、1 チー



ムに障害の軽いカテゴリーの選手が2名までという決まりがあります。今大会では筆者は3走を任せられ、チームの皆がメダル獲得を目指してレースに臨みました。

予選ではこれまでにない良い走りとなり、日本記録を出すなど、東京パラリンピック以前に目標としていたタイムに近付けることができる好感触なレースでした。団体種目であるリレーにおける日本チームは各国の選手に個人の走力で勝てないため、走者と走者をつなぐタッチワークの技術で世界と戦おうという作戦です。これまでに多くの合宿をし、レースのたびに分析・反省を積み重ね、タッチワークに磨きをかけました。しかし、決勝では4位。ここまでの練習でも結果が伴わなかったというのは、各国もタッチワークに磨きをかけてきた証拠ではないかと思います。この先もユニバーサルリレーではタッチワークだけではなく、個々の走力が必要になります。今後の課題が明白になったと考えています。

### パラスポーツの未来を思う

今大会では2名の視覚障害者と同部屋だったこともあり、パラスポーツについての多くの課題を実感することになりました。視覚障害者、特に全盲の視覚障害者がスポー

ツをするという壁は相当高いということです。視覚障害等がある選手がスポーツをするにあたっては、ガイドが必要になります。しかし、ガイドが圧倒的に足りていません。そもそもガイドの認知度が低いということもありますが、やはり人件費の問題も見逃せないと考えます。ガイドランナーはガイドをするだけで生計を立てることは難しいので、ほかに仕事をもっている人が多いです。もしガイドをする選手が海外に遠征するとなれば、ガイドランナーはほかの仕事を休職して自分も同行しないといけません。そして、ガイドの人手不足を解消するには、前提としてパラスポーツの選手人口自体が増えなければならないでしょう。

パリパラリンピックでは若い選手が増え、パラスポーツの世代交代を感じることができました。しかし、4年後、さらに8年後にも同じような世代交代が起きるのかは疑問です。医療の発達に伴い、障害のある人が少なくなる現状にあるとも聞きます。医療で障害を克服できるようになること自体は望ましいことですが、それでも障害がなくなることはなく、パラスポーツは必要であり続けます。今後はパラスポーツの普及とパラアスリートの強化の仕方がより重要になってくると考えています。

### 【松本武尊選手プロフィール】



中学・高校で陸上部に所属し、短距離選手として活躍。高校2年の時、病気の後遺症で麻痺が残り、一時競技から離脱しましたが、1年後、T36クラスの選手として復帰しました。パラ陸上転向直後から100mと200mで日本記録を更新。2021年には400mでも日本記録を更新して、東京2020パラリンピックに出場し、400m(T36)7位、100m(T36)10位の成績を収めました。また、800mの日本記録に続いて、翌年には400mでアジア記録も更新しました。

## トレーナーとして、作業療法士として

公益社団法人日本ローイング協会・日本パラスポーツ協会公認パラスポーツトレーナー

三木 孝太

### TOKYO から PARIS へ

東京 2020 パラリンピック競技大会（以下、東京大会）に続き、パリ 2024 パラリンピック競技大会（以下、パリ大会）日本代表選手団に選出され、ローイング競技のトレーナーとして参加しました。

今大会は、東京大会が COVID-19 の影響で1年延期になったことで、史上初の3年間隔での開幕となりました。COVID-19 により東京大会はすべて無観客となり、開会式やレースは歓声がなく、空席が目立つなかで行われましたが、パリ大会は有観客で開催されました。特に無観客と有観客の差を感じた場面は開会式でした。パラリンピックでは、シャンゼリゼ通りをコンコルド広場に向かって行進し、最大6万5千人を見込む観客の歓声が会場全体に響き渡りました。

ローイング競技は、東京大会ではPR3混合舵手つきフォア、PR1女子シングルスカルの2種目、計5人の選手が出場しました。自国開催を終えて競技を引退する選手が多いなか、パリ大会を目標に新たにローイング競技を始める選手もあり、今大会に出場した選手もその1人でした。2024年4月に韓国で行われたアジア・オセアニア大陸予選にて繰り上げ優勝を果たし、念願だったパリ大会の出場権を獲得しました。パラリンピックでは、日本ローイング競技史上初のPR1男子シングルスカル種目の出場となりました。

### 選手村の様子

選手村のなかでは、さまざまな施設を利用できました。洗濯では各所にランドリーサービスが設置されており、乾燥された状態で返却されるため洗濯に不便はありませんでした。食事では、オリンピック開催時に「長蛇の列で食事がとれない」「お肉が食べられない」と話題になっていましたが、パラリンピックは参加人数が少ないからか、最後まで食事に困ることはありませんでした。食事内容はWORLD、ASIAN、FRENCH、HALALと各エリアに分かれており、さまざまな食事を味わうことができました。このほかにも、ポリクリニック、フィットネスセンター、Ottobock 修理センター等、競技を行ううえでとても重要な役割をもった施設もありました。特に Ottobock 修

理センターは、日常用・競技用の車椅子や義肢のメンテナンスを行っていたため、各国多くの選手が利用していました。このような施設がある一方で、ゲームセンター、雑貨店、ヘアサロン、サウナ等、心身のリラックスを目的とした場所も多く、賑わいを見せていたことがとても印象的でした。

### 競技場の様子

ローイング競技の競技場は、選手村から約40km離れた場所に位置しているヴェール・シュル・マルヌ・ナティカル・スタジアム。移動用バスはオリンピック・パラリンピック専用レーンが設置され、選手や大会関係者の競技場へのアクセスが効率化されており、片道1時間で移動可能でした。車椅子のまま乗車できるようにバリアフリー化されていたため問題なく乗車できましたが、セキュリティの観点から窓が締め切られており、満員、かつ炎天下の車内は苦痛でした。

競技場内には各国に対して専用の小部屋が用意され、シャワーやトイレを自由に使用することができました。スロープや手すりが常設されており、車椅子でも利用が可能なように設計されていました。また、レース初日から、観客席裏側にはショップやカフェの出店があり、観客への配慮もうかがえました。

決勝では観客席は満員。各国の国旗が掲げられ、互いを尊重し応援し合う観客の姿に感銘を受けました。昨今の世界情勢は混迷を極めていますが、このような情景を目の当たりにできるのは、オリンピック・パラリンピックだからこそだと感じます。

### トレーナーの活動内容について

人数配置の関係上、ローイング競技の選手は2人部屋を1人で使用することができました。しかし、ベッド等の配置により、車椅子で通れるスペースが確保されておらず、生活が困難な状況でした。対策として、初めに選手と生活スペースや車椅子導線について話し合いを行い、希望を聴取しました。ほかにも、ベッドやラック等の方向・位置、スーツケースを広げる位置等、具体的な部屋での過ごし方のイメージを共有し、それをもとに車椅



写真3 選手村居室

写真4 ローイング競技 8位入賞の記念に  
(写真左から佐原英行監督、森卓也選手、筆者)

子移動時の動線を考えて再配置を行いました。トイレはスペースが確保しており、手すりが設置されていたため問題なく使用できました。また、入浴はシャワーチェアが用意されていたものの、シャワーヘッドの位置が高く、可動式ではないため下方へ移動させる必要がありました。

パラスポーツ選手は遠征のたびに自宅とは異なる環境で日常生活を送るため、いかにストレスなく日常生活を過ごし、競技への集中を高められるのかを考える必要があります。これらの視点は競技パフォーマンス向上にかかわる大きな要因の一つでもあるため、コンディショニングとして必ず実施をしています。

入村から事前練習が開始されるまでの間、7時間の時差を調整する必要がありました。基本的には食事や起床・就寝の時間を一定にしますが、体内時計の調整ができるように日中の外出を促し、陽の光の下で活動するように心がけました。

その後は、選手のパフォーマンスを最大限に引き出すため、村外拠点を利用しながらトレーニングやコンディショニングを行いました。村外拠点にはトレーニング機器、物理療法機器、セルフコンディショニング機器が揃い、スタッフも在住しているほか、衣食に関するサポートも多く、包括的なサポートが受けられる環境であったため利用しました。

競技場では、ローイングエルゴメーターによるウォームアップができず、水上でのウォームアップが基本と考えていますが、気温の変化や競技の時間帯を考慮した結果、陸上でのウォームアップは不可欠であったためチューブを用いたメニューを考案し実施しました。予選から決勝まで

の3日間レースが続くため、翌日に疲労を持ち越さないように、レース後は物理療法機器を駆使しながら心身のケアに努めました。また、常に監督やコーチと身体状況、心理状況を共有することで、多方面からサポートができるように心掛けていました。結果として、ローイング競技史上初のパラリンピック8位入賞を果たし、パリ大会を終えることができました。

### パラリンピックを通して

日本パラリンピック委員会はパラリンピックの意義として、多様性を認め、誰もが個性や能力を発揮し活躍できる公正な機会が与えられている場であり、共生社会を具現化するための重要なヒントが詰まっている大会であると示しています。

作業療法士として「共生社会」という言葉はよく耳にするものの、実際にどのような状況を指すものかイメージが湧いておらず、具現化する方法が見つからずにいました。しかし、パラリンピックを経験するなかで、選手村こそが共生社会を具現化していることに気づかされ、障害の有無にかかわらず互いに助け合い、心にバリアを感じずに生活している姿は、我々作業療法士が目指すべき社会像であると感じました。

2028年にはロサンゼルス、2032年にはブリスベンにてパラリンピックが開催されます。目標であるメダル獲得を果たすため競技力向上に尽力しますが、スポーツの本質は障害を超えた人間の尊厳と挑戦です。これからもパラリンピックが一層注目され、社会により多くの理解と共感が広がることを願っています。

## のぞいてみよう、生涯学修制度 ～YouTube や協会ホームページにて情報公開中～

### 生涯学修制度の構造図が完成しました

2025 年 4 月からスタートする生涯学修制度の構造図が完成しました。本誌第 148 号（2024 年 7 月 15 日発行）に掲載した構造図（原案）から体裁を整え、よりわかりやすく制度全体の構造を把握できるものにしました（構造図の下部に記載した「解説」については第 148 号をご参照ください）。

構造図が示す通り、生涯学修制度の大きな枠組みのなかに、登録作業療法士制度、認定作業療法士制度、専門作業療法士制度の 3 つの制度が位置付けられており、自己研鑽やキャリア構築等、各自の状況に応じて取り組めるものとなります。

### 協会ホームページに「生涯学修制度」ページができました

生涯学修制度の概要や、新設される登録作業療法士の定義などを順次掲載していきます。

以下、QR コードからぜひご覧ください。また、生涯学修制度の概要をまとめた 3 分程度の動画を作成しました。こちらは YouTube に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



●生涯学修制度ページはこちら



●生涯学修制度プロモーション映像はこちら

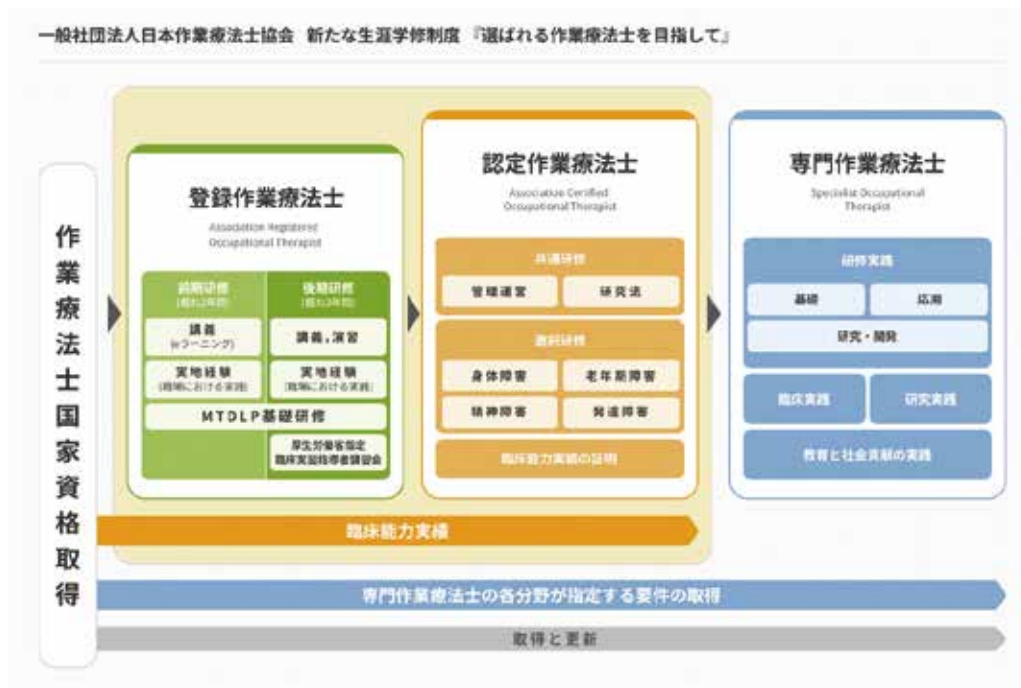


図 生涯学修制度の構造





生涯学修制度プロモーション映像（一部）

### 現行制度の基礎研修修了に向けた取り組みをお願いします

生涯学修制度への移行に伴い、既に基礎研修修了している方、更新要件を満たしているが更新手続きをしていない方は、申請手続きをお願いいたします。申請手続きの方法は、右記のQRコードからアクセスしてご確認ください。

また、現行の生涯教育制度基礎研修が未修了の方は2027年3月31日までに基礎研修を修了できるよう、ぜひ取り組みを進めてください。生涯学修制度（新制度）において、2027年4月1日から登録作業療法士の読み替えを予定しています。この時、

現行の生涯教育制度において基礎研修を修了していることが一つの要件となる予定です。なお、読み替えの詳細は、現在検討中です。決定次第、本誌や協会ホームページでお知らせいたします。



●基礎研修の修了申請手続き方法はこちら

## 生涯教育制度 他団体・SIG ポイント申請



### 申請したポイントは登録されていますか？

現在、他団体 SIG ポイント申請に関して、申請内容の不備により登録ができず、**963 件が保留**となり、放置されています。保留の原因は、参加証明書に「**氏名の記載がない**」「**不備がある**」です。「申請したはずだけど……ポイント登録されているかな？」と思われる方は下記の方法で確認してください。

#### ●確認方法

- ①会員ポータルサイトにログインしたら、画面左のメニューから「生涯教育」>「各種申請（生涯教育）」をクリックしてください。「他団体・SIG ポイント申請登録」をクリックすると「他団体・SIG ポイント申請仮登録一覧」が表示されます。

| 他団体・SIGポイント申請 仮登録一覧      |                |               |    |       |          |        |      |
|--------------------------|----------------|---------------|----|-------|----------|--------|------|
| <input type="checkbox"/> | 申請日            | 受講日           | 日数 | 受講テーマ | 他団体・SIG名 | ポイント種別 | ポイント |
| <input type="checkbox"/> | 2021年<br>1月12日 | 2021年<br>1月8日 |    |       |          | 参加     | 1    |
| <div>申請 新規追加 変更 削除</div> |                |               |    |       |          |        |      |

「他団体・SIG ポイント申請仮登録一覧」画面

- ②仮登録一覧に残っているものがある場合（上の画面の赤枠を確認）は、画面左メニューの「お知らせ一覧」をクリック。

「申請状況一覧」を参照し、「**保留理由**」を確認して**再申請**を行ってください。

今後、保留期間 1 年を経過した時点で強制的に削除されます。削除された場合には、**改めて**申請し直してください。再申請する場合は、参加証明書に不備がないかを確認のうえ、申請してください。

申請したポイントが確実に登録されるように、申請前に不備がないか必ず  
証明書類を確認しましょう！  
また、申請したポイントは確実に登録されているか、必ず確認するようお願いいたします。



#### ●お問合せ

教育部生涯教育課 ot-syougaiyouiku@jaot.or.jp

# MTDLP 事例報告登録の受付終了について

MTDLP 室・MTDLP 事例審査会

2025 年度より、新しい MTDLP 指導者認定制度が始まります。それに伴い、MTDLP 実践の評価を担ってきた事例報告登録制度における MTDLP 事例の受付が終了となります。現行の事例報告登録制度の同意書を対象者より取得している会員の方には、2024 年 12 月末日までに、事例登録をお願いしております。

なお、事例審査体制を見直し、迅速審査の対応しておりますが、多くの事例報告をいただいている現状から、審査開始までお時間を頂戴しております。審査状況の進捗状況については、ホームページ等でご報告できるよう努めて

参ります。

さて、新しい MTDLP 指導者の認定方法について等、多くの質問が寄せられております。MTDLP 指導者を目指す会員や各都道府県作業療法士会の MTDLP 推進担当者におかれましては、ご不明点ありましたら、MTDLP 室まで問い合わせいただきますようお願いいたします。

## ●お問い合わせ

MTDLP 室事務局 mtdlp-master@jaot.or.jp

## よくある質問と回答

**Q 1** 現在の同意書は、来年度からの MTDLP 指導者認定制度には使用できますか？

**A 1** 現行の同意書は、事例報告登録制度に登録し公開することの説明と同意となります。新しい MTDLP 指導者認定においても引き続き事例報告を行っていただきますが、その説明と同意の内容は異なります。新たな制度への説明と同意を対象者と施設にお願いすることになります。

**Q 2** 迅速審査で事例合格した場合、標題に「N」が付記されるとのことですが、認定作業療法士の申請には活用できますか？

**A 2** MTDLP 実践として合格基準に達していると判定された事例報告であり、事例報告登録制度にて公開されている事例となるため、認定作業療法士の申請に活用ができます。

**Q 3** 新しい MTDLP 指導者認定の審査がどのように変わるのですか？

**A 3** これまでは、MTDLP 実践を評価する手段が書面審査であって、必ずしも MTDLP 指導者要件を評価できているとは言えないという課題もあり、また審査委員への負担や審査結果通知まで時間を要することの問題が生じておりました。そのため、審査基準は変わりませんが、MTDLP 指導者を目指す方は、口頭での事例報告、質疑応答を行いながら、MTDLP の実践力を評価させていただきます。

**Q 4** 口頭での事例報告はどのように行うのですか？ また、会員への周知が不足してはいないでしょうか。

**A 4** MTDLP 指導者の認定審査となる口頭での事例報告の運用について、多くの質問が寄せられており、これらの説明と周知が重要だと認識しております。そこで、MTDLP 事例審査会で想定する事例報告会の模擬動画の作成に取り組んでおります。動画では、プレゼンテーションの方法や審査委員と質疑応答をする視点といった解説を加え、動画を視聴することで新しい MTDLP 制度へ取り組みの理解を深めてもらえるようにします。現在、都道府県士会の MTDLP 推進担当者と協議しながら、動画公開の準備をしております。

一般社団法人日本作業療法士協会（以下、本会）では、「誰もが主役 多様な協会へ」というスローガンのもと、会員の視点に立った会員のための協会活動を目指す、新しい取り組みを始めています。この連載では、本会の目指す方向やそのための事業について紹介し、会員の誰もが参画しやすい協会活動のあり方について提案していきます。

連載第4回目となる今回は、このほど公示された役員選挙に際して、改めて「ジェンダーに着目した候補者クォータ制」について解説します。



### 本会が目指す未来

本会の会員構成は、年齢や領域・職域等ますます多様化してきています。そして多様な会員が安心して作業療法士として働けるように支援するのが本会の役割であり、今こそ改めて会員の視点に立った活動を見直す必要があると考えます。

そこで、本会では「誰もが主役 多様な協会へ」というスローガンのもと、会員の視点に立った会員のための協会活動をビジョンに掲げ、会員の誰もが安心して作業療法士として働き・学び・成長し続けられるために、さまざまな取り組みをしています（図1）。

### 多様な会員構成を反映したバランスの取れた役員組織づくり

そこで、多様な会員構成を反映したバランスの取れた組織づくりの第一歩として、本会では役員選挙における「ジェンダーに着目した候補者クォータ制」の導入を進めていくこととなりました。

クォータ制とは、人種や性別、宗教等を基準に、一定の比率で人数を割り当てる制度のことを指し、多様な会員構成を反映した組織づくりを可能にするものです。意思決定の場において少数派が無視できない影響を及ぼすようになる分岐点を「クリティカル・マス」と言い、特定の属性が30%以上を占めることが多様性に配慮した組織として必要な条件とされています。

クォータ制としては、性別、世代、領域等さまざまな属性に着目して導入することが考えられますが、今回の役員選挙より「ジェンダーに着目した候補者クォータ制」が導

### 「誰もが主役 多様な協会へ」推進チーム

会員の誰もが安心して作業療法士として働き・学び・成長し続けられるために

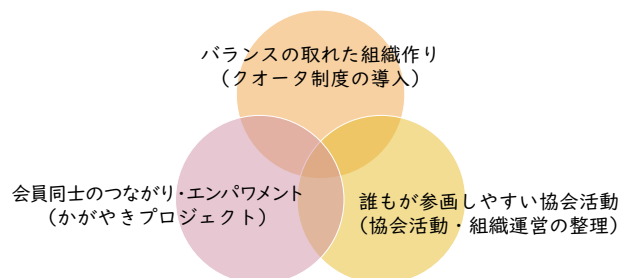


図1 「誰もが主役 多様な協会へ」推進チームの取り組み

入されることが、2024年度定時社員総会にて承認されました。本会の役員や代議員における女性会員は一定の割合で推移しているものの、ここ15年ほどはクリティカル・マスである30%を下回っており、ジェンダーバランスの取れた役員・代議員体制づくりが喫緊の課題であると言えるからです（図2）。

### 役員選挙における

#### 「ジェンダーに着目した候補者クォータ制」

「ジェンダーに着目した候補者クォータ制」では、代議員が投票する役員候補者のうち一定の人数が男性および女性に割り当てられることになりました。

役員の候補者に割り当てる人数は、役員の最多定数のうち、男性で3割以上、女性で3割以上となります。その30%（3割）を本会の候補者クォータ制に適用した場合、理事の最多定数は24名なので、候補者には男性8名（33.3%）、女性8名（33.3%）が少なくとも必要であ



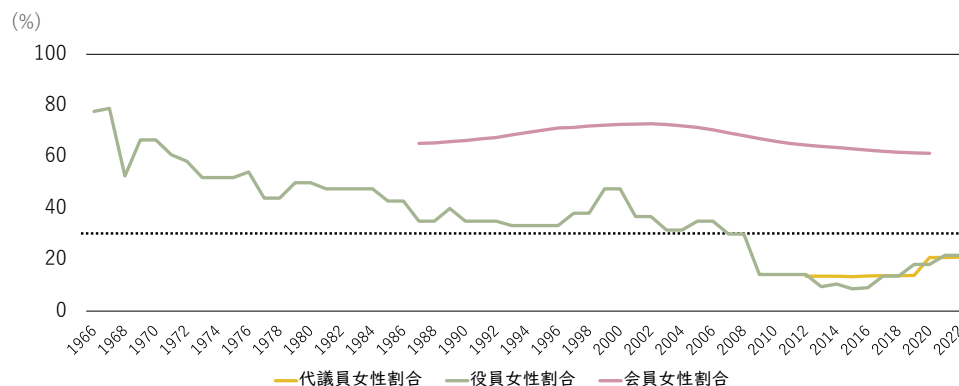


図2 役員および代議員の女性割合の推移(1966～2022年)

理事・監事それぞれにおいて、男性・女性それぞれの候補者数が少なくとも最多の定数の3割以上となるように割り当てる

\*日本作業療法士協会に登録された性別を用いる(性別は自己選択が可能)

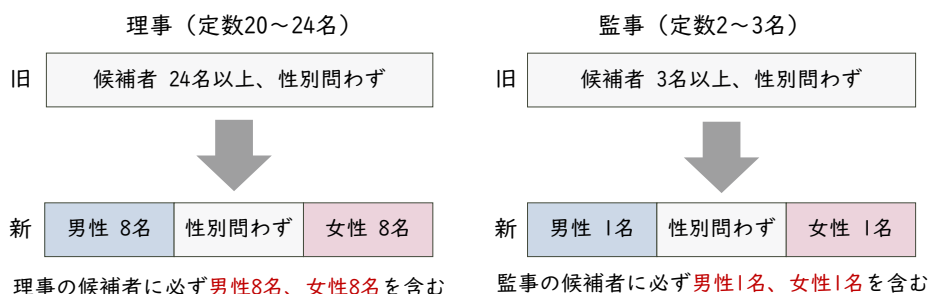


図3 ジェンダーに着目した候補者クォータ制

り、また監事は最多定数が3名なので、候補者には少なくとも男性1名(33.3%)、女性1名(33.3%)が必要ということになります(図3)。なお、理事の立候補者において男性が8名(または女性が8名)に満たない場合は、その性の候補者が8名になるまで理事会より推薦候補者を擁立します。

立候補は、本会の定款と基本理念に則り、国民の健康と福祉の向上に寄与する作業療法の振興に役立ちたいという気持ちがあれば、どのような動機でも結構です。今まで協会活動に参加したことが条件になるわけではありません。

皆様からの多くの立候補を心からお待ちしています。

役員選挙の詳細な公示内容や今後のスケジュールについては、本号のp.2～4をご参照ください。

協会活動は、誰もが主役です。私たちはその大切な言葉や行動を待っています。あなたの、その声や行動が、未来の私たちを後押ししてくれます。そして、あなたの日々の経験こそ協会活動には必要です。ぜひ、あなただからできる協会活動への参画方法を考えてみませんか？

「誰もが主役 多様な協会へ」推進チームのさまざまな取り組みについては、本会ホームページにてご確認ください(会員向け情報> PICK UP >誰もが主役 多様な協会へ)。



## 第6回児童福祉領域の作業療法士意見交換会 開催報告

制度対策部

2024年9月29日、第6回となる「児童福祉領域の作業療法士意見交換会」を大阪保健医療大学にて実施しました。第5回に引き続き、対面形式とWeb形式を取り入れたハイブリッド開催とし、全国各地から約200名の作業療法士が集いました。

この意見交換会は、①児童福祉領域にかかわる会員が相互に意見を交わす機会となること、②会員が児童福祉領域に関連する制度について知る機会を提供すること、③児童福祉領域における作業療法士に共通する役割や課題を抽出することを目的としています。午前の部では、こども家庭庁による行政説明と酒井康年本会常務理事の講演、両者による対談、午後の部では、会場、オンラインそれぞれで参加者によるグループディスカッションを行いました。

### 障害児支援施策を解説する行政説明

行政説明は、「こども政策全体の中での障害児支援施策について」と題して、こども家庭庁支援局障害児支援課鈴木久也課長補佐よりお話をいただきました（写真1）。こども政策全般の動向、障害児施策の動向、各種ガイドライン改訂、教育と福祉の連携、他施策との連携について、児童福祉領域で勤めるに当たり知っておくべき要点を教えてくださいました。

お話をいただいた要点の一部を紹介します。

- ①障害の有無にかかわらず、ひとりの子ども（人）として捉え、子どもの権利を尊重したかかわりが基本となる。
- ②児童福祉領域における子どもへのかかわりは、いずれかの機能に特化した支援ではなく総合的支援を行うことが基本。5領域の視点は、児童福祉領域における共通言語をつくる意味をもつ。
- ③本人支援、家族支援、移行支援、地域支援・地域連携の5本柱で支援を構築する。
- ④子どもの支援は、一職種のみではなく、多職種連携により充実する。作業療法士等専門職が効果的に連携して、子ども・家族への支援がより豊かになること

が期待されている。

具体例や体験が豊富に盛り込まれた内容に、あっという間の1時間でした。現場での悩みを解決し、より質の高い実践を構築していくうえでは、自身が勤める地域の動向に目を向けること、施設規模・人口規模に応じた好事例を参考に自身の環境での実践と検討を重ねることが重要であることを教えていただきました。また、制度等の体制整備には、みえない資源（作業療法に当てはめると作業療法士の知見、知恵を活かした実践例）が集まるのが、重要な情報となるため、「ぜひたくさん届けてほしい」と作業療法士へのエールをいただきました。

### 多職種連携の悩みに応える講演

酒井常務理事による講演「児童発達支援・放課後等デイサービスで作業療法士が輝くために」は、講演タイトルの通り、児童福祉領域における作業療法士の活躍のために必要な視点が豊富に盛り込まれた内容でした。事前アンケートの回答からみられた、作業療法士の専門性をどのように他職種に伝えたいかわからないという悩みについては、「作業療法士が行う活動は、一見、ほかの職種が行う活動と変わらないこと」、「その活動を選び、実行していく過程に作業療法のリーズニングがあること」が説明されました。児童福祉領域の質の向上には多職種連携が欠かせず、報酬改定により作業療法士が活躍できることが増えたと明確に述べられました。「多職種連携は文化の違いであり、難しいものである」という前提のもとに、「作業療法士の専門性を守るのではなく、各専門職の専門性に線を引くのではなく、お互いに越えていく」という提案がありました。自分の仕事にプライドをもちつつ限界性も認識し、相手の文化をリスペクトして知ろうとする姿勢が重要とも話されました。また、作業療法士は医療専門職ではありますが、医療・福祉とフィールドが変わると求められるものが変わること、児童福祉領域では特に、「子どもを育てること」を求められていることが、強調して語られました。

鈴木課長補佐、酒井常務理事による対談は、参加者の方から事前に寄せられた質問をもとに進められました（写真2）。



写真1 鈴木課長補佐による行政説明の様様



写真2 酒井常務理事（写真左）と鈴木課長補佐（写真中央）による対談の様様

行政説明、講演の内容をいかに現場での作業療法士の活躍に活かすかについて、より理解が深まり、実践につながる時間になったのではないかと思います。

### さまざまな立場の人で語り合った グループディスカッション

グループディスカッションは、対面、Web 合わせて9グループで行われました。「午前中の話を聞いて、私にできそうなこと」をテーマに、時間いっぱい活発な意見交換がなされました。報酬改定に伴い現場に起きた動き、他機関との情報共有の手段、医療から福祉への連携体制等について、意見交換がなされました。また、児童福祉領域現場に直接かわる方のみならず、学校養成施設、医療機関、教育委員会、都道府県作業療法士会関係等、さまざまな立場の方が集うからこそ、日常業務では知りえない立場での活動・歩みに触れることができ、学びを得ることができたのではないかと思います。対面会場では、休憩時間中に名刺交換が行われ、終了後も参加者同士で交流がなされていました。

### 課題解決への具体的行動が求められている

会のまとめとして、鈴木課長補佐からは、「課題は十分

に把握されている。できること、方向性もみえている。あとは行動を起こすのみ。何かを動かす時には、必ず誰かが汗をかいている。制度が動くときも小さな動きから。子ども家庭庁にぜひ好事例を届けていただきたい」と背中を押していただきました。酒井常務理事も、「課題解決に向けて、あとは実践のみ。実践例を共有させていただきたい」と語られました。

参加者アンケートでは、行政説明、講演、対談いずれも、「とても理解できた」「おおむね理解できた」を合わせると95%を超えました。グループディスカッションは100%の方が「満足」と答え、「自身の業務等の参考になった」という回答が99%でした。参加者一人ひとりが意見交換会の機会を積極的に活用して、業務である「対象となる方の豊かな育ち」につなげたいという熱意が伝わってくる雰囲気とアンケート結果となりました。

今回は、令和6年度報酬改定後初めての意見交換会でした。児童福祉領域において作業療法士が子どもの育ちを支える一職種として活躍していくために、会員一人ひとりが制度について正しく知り、求められる役割を把握するための情報発信を続けていきます。また、制度対策部で募集する際には、全国の現場で勤める会員の皆様から、実践事例のご提供にご協力をいただければ幸いです。

前回の第148号(2024年7月15日発行)は「社会を明るくする運動」を紹介しましたが、今回は「DAA」について紹介します。DAAとは「デジタルアクセシビリティアドバイザー」(Digital Accessibility Advisor)の略称で、「ICT機器などのデジタル機器を障害のある人や高齢者に対して、その困りに合わせて適切にコーディネートし、その利活用をサポートできる知識と技術を認定された人材であり、デジタルアクセシビリティのマイノリティを持つ支援者」と、一般社団法人日本支援技術協会が定義しています。また、DAA資格を取得した後、デジタル庁の「デジタル推進委員」に登録することができます。

作業療法士は地域において障害者へのIT支援で活躍していますが、DAAはこの取り組みを支える認定資格となっています。今回は、この制度の創設に大きく関わった本会生活環境支援推進室の田中勇次郎氏にDAAについて解説していただきました。

## DDA を取得して障害者の IT 支援に取り組もう

生活環境支援推進室 田中 勇次郎

### DAA ができるまで

2005年9月の総務省「障害者のIT利活用支援の在り方に関する研究会」報告書の「障害者のIT利活用支援事業の具体化に向けた提言」に、次の文言が示されています。

リハビリテーション分野の専門職である作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、社会福祉士等と、密接に連携しながら、IT支援を進めることは重要である。その中でも、IT支援を本来業務として進めやすいのが作業療法士である。すでに、作業療法士が、地域におけるIT支援の核になっているケースも多い。また、作業療法士が所属しているリハビリテーション関連組織(リハビリテーションセンター、各種病院、各種福祉施設等)そのものが、IT支援を業務の一環としてとらえることで、リハビリテーションの観点から、IT支援を進めることが可能である。この場合、業務の一環として位置づけることができるIT支援については、既存の医療保険、介護保険で対応可能であると考えられる。

これを受けて、株式会社三菱総合研究所が実施した、障害者のIT利活用支援のあり方に関するIT支援基盤実証事業の「データ整備研究会」に、筆者は本会の委員として参加しました。この会議の会場がNPO法人e-AT利用促進協会事務所だったため、「福祉情報技術コーディネーター」という資格を知ることとなりました。

「福祉情報技術コーディネーター」は、福祉施設における情報技術の活用に必要な知識・技術・能力をもった人材です。これを育成することを目的として、社会福祉士、看護師、保健師、介護福祉士等、福祉に関する資格を



図1 DAA 認定試験公式テキストのBasicレベル編(左)とStandardレベル編(右)

(参照: <https://daa.ne.jp/>)

有する人を対象とした資格試験が行われていました。この資格取得に向けた活動を推進していたのが、NPO法人e-AT利用促進協会だったのです(e-AT利用促進協会は、本会の生活環境支援推進室のIT機器レンタル事業に大きく関わっています)。

「福祉情報技術コーディネーター」試験は2017年2月で終了しました。その後、2019年に筆者は「ICT技術を活用し障害者の自立・就労を支援する『アシスティブテクノロジーアドバイザー』の育成」という厚労省委託事業の委員として参加して、アシスティブテクノロジーアドバイザー教育訓練プログラムの検討とeラーニング教材制作を行いました。これをもとに2023年、「ICTアクセシビリティアドバイザー」(略称:AAICT)を地域に位置付けて、イ





図2 手づくりのゲーム用操作スイッチを左母指で利用する対象児



図3 操作スイッチ部分の拡大図



図4 対象児の母親に提案した操作スイッチ  
①ヒンジレバー  
②耳掛け部のゴム

ンクルーシブな社会実現に貢献するためのさらなる活動として AAICT 認定資格制度をつくることになり、この検討委員会にも参加しました。DAA は、この AAICT を時代に合わせて改称したものになります。

#### DAA 資格取得の経緯と DAA 活動の実際

DAA 資格取得のためのテキスト Standard レベル編の第六章、「作業療法士による支援技術の実践例」の執筆を、本会の IT 機器レンタル事業委員の筆者とほか 3 名が担当したことで、日本支援技術協会から執筆者全員に DAA 資格が与えられました（図 1）。

DAA 活動の実例として、今年の 8 月 24 日に開催された、認定 NPO 法人フローレンス主催の「パラ e スポーツフェスタ～インクルーシブ・テックで遊ぼう！～」の例をご紹介します。このイベントは肢体不自由児を対象とした e スポーツイベントですが、このイベントで使用されたゲーム用の操作スイッチの一つを、DAA 資格をもつ作業療法士が製作しました。

さらに、これを利用している対象児の母親からの「ゲーム用の操作スイッチをより作動しやすくする方法を教えてください」という要望に応え、筆者が改良を加えました。マイクロスイッチのヒンジレバーの可動域を制限させ、かつ動作圧の軽減を図るように、適度張力のディスプレイの耳掛け部のゴムをマイクロスイッチの壁面とヒンジレバー上面に接着剤で貼り付けて、ヒンジレバーの上面にボタンを接着し、対象児が母指で押し込みやすくするための工夫を提案しました（図 2・図 3・図 4）。

こうした取り組みは療育施設や医療機関ではなく、地域のイベントだからこそではないでしょうか。DAA は地域の活動で大きな力を発揮すると言えます。

#### 今後の展望と会員へのメッセージ

筆者は現在、株式会社 NTT データ経営研究所が受託した「令和 6 年度障害者等の ICT 機器利用支援事業」という厚労省事業の検討委員会に、本会生活支援推進室員として参加しています。内容は、厚生労働省の「障害者 ICT サポート総合推進事業」として、現在、都道府県 32 か所、市町村 9 か所、計 41 か所に設置されている ICT サポートセンターの基本的な役割の再整理やセンターの設置・運営に関する支援のあり方、リーフレットの構成、周知方法や、ICT サポートセンター等の未設置自治体への設置支援策等の検討です。

ICT サポートセンターの職員には障害者の特性を理解し、個々の障害の状況に応じた機器等の選定、操作方法等を伝えることが求められます。しかし、現状、職員の要件や資質は各センターに委ねられており、人材育成に課題があることが判明しました。「ICT サポートセンターの職員の育成においては、障害者のデジタルアクセシビリティを学ぶことのできる『アクセシビリティアドバイザー』や『デジタル推進委員』のカリキュラムを参考にすることが可能である」と示されており、先述の DAA 認定試験公式テキストが委員会配布資料に紹介されています。今後、本会会員が ICT サポートセンターを運営したり、ICT サポートセンターと連携して相談業務等の活動を実施したりする場合、DAA 資格取得が望ましいということになります。

タブレット PC やスマホゲーム遊び、VR を利用した就労支援、e スポーツを活用した高齢者・障害者のフレイル予防等、デジタル技術を応用した活動が拡大するなか、作業療法士が DAA 資格を取得し、ニーズに対応できる職種としてアピールしてはどうでしょうか？ また、養成教育のカリキュラムに取り入れ、次代を担う作業療法士を DAA として育成すべきだと筆者は感じています。



## 2024 年度第 4 回定例理事会 理事会レポート

2024 年 10 月 19 日、2024 年度 4 回目となる定例理事会が開催されました。ここでは当日行われた報告・審議から、協会の最新動向として会員の皆様に知っていただきたい重要な話題をピックアップしてレポートします。

→ 理事会抄録は p.22 ~ 23

### 作業療法士総合補償保険制度 見直しへ

本会会員の福利厚生の一環として、全会員に提供されている作業療法士総合補償保険制度について、会員福利厚生委員会より制度見直しの答申が上程され、承認されました。本制度は 2006 年に導入されて以来、初の見直しとなります。

同委員会は今回の見直しの理由として、名称から内容がわかりにくい点、パンフレットに専門用語が多く、字数も多いため読みにくい点、プライバシー侵害等の人格権侵害の補償が入っていない点を挙げています。さらに、本制度は全会員が自動加入する基本プランに加えて、補償額の上限を増やし、補償範囲を拡大できる任意加入で保険料自己負担の上乗せ補償プランで構成されていますが、上乗せ補償プランは 1 種類しかなく、個々のニーズに対応できるように複数あった方がよいということも見直し理由に挙がったとのこと。

これらの理由から、同委員会では①「作業療法士賠償責任保険制度への名称変更」、②「基本プランに人格権侵害補償の追加」、③「上乗せプランの内容変更と複数化」、④「上乗せプランの月々負担額の明記」、⑤「パンフレットの改定」を図っていきます。今後、同委員会は 2025 年 7 月より新制度を施行できるよう作業を進める方針です。

### さまざまなハラスメントに対して 発生防止を宣言

倫理委員会より 2024 年度第 1 回定例理事会（2024 年 4 月 20 日開催）にて提案された「ハラスメント防止宣言」の修正案が今回の理事会に上程され、大枠が承認されました。

日本作業療法士協会として、さまざまなハラスメントに対

する姿勢を明確に打ち出し、予防に努めるために宣言を発することは第 1 回定例理事会でも概ね賛同されていましたが、文言を補う必要があるとして引き続き検討することになっていました。特に本会の倫理指針・倫理綱領とは別に宣言を出すことの意義が議論的になっていました。今回、同委員会は、「社会的にハラスメントに対する感度が高まっていること、ハラスメント防止に対する協会としての社会的責任が問われる時代になってきていることを鑑みて、対外的に協会の姿勢を明示することが重要であると考えた。進路を考える学生にとっても、協会の姿勢を見せることは、安心して進路選択するうえで肯定的影響を持つことができるのではないか。同様に、ほかの関連機関・関連職種に対しても、協会の高い倫理性を認識いただく機会にもなり、さらには他団体の取り組みをリードするきっかけともなり得るのではないか」と回答しました。

さらに、弁護士にも相談し、前文を追加して宣言の大枠が示されました。引き続き細部の微調整を行い、完成次第、全文を本誌や協会ホームページ等にて周知する予定です。

### 令和 6 年能登半島地震と奥能登豪雨 重複被災の会費免除を決定

令和 6 年能登半島地震で被災し、会費免除申請した会員のうち、今年 9 月 21 日に発生した令和 6 年奥能登豪雨によって床上浸水等の被害を受けた会員は、既に会費免除を受けている年度の翌年度の免除も申請できることが決定しました。

2024 年度第 3 回定例理事会（2024 年 8 月 17 日開催）にて「大規模災害時支援活動基本指針」と併せて、「大規模災害を被った都道府県における作業療法士会の支援に関する規程」も一部改正されましたが、今回のように短期間に重複して被災した場合の会費免除についての考え方は示されていませんでした。今回の理事会に先立って開催された災害対策本部会議にて本件について議論され、理事会に上程されました。

なお、今後、重複して被災した会員がいる可能性がある場合、その都度、重複災害の認定と重複支援の適用を災害対策本部で行い、直近の理事会で報告することとなりました。



## 事務局からのお知らせ

### 休会に関するご案内

現在は 2025 年度（2025 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日）の休会を受付中です。2025 年度の休会を申請する方は下記をご確認のうえ、申請用紙を事務局までご請求ください。

【申請条件】 2024 年度の会費を納入しており、かつこれまでの休会取得回数が 4 回以下であること

【必要書類】 協会所定の休会届と休会理由証明書類\*

【提出期限】 2025 年 1 月 31 日（必着）までに協会へ郵送

※休会理由証明書類は、休会理由の根拠となる、第三者による証明書であること

例) 出産・育児…出産および出産予定を証明する母子手帳の写し等

介護…要介護状態を証明する書類の写し等

長期の病気療養…医師の診断書の写し等

もし、証明書のご提出が上記の提出期限に間に合わない場合は、まず「休会届」だけ先に提出してください。その際、協会事務局にご一報いただき、いつまでに証明書の提出が可能かをお知らせください（遅くとも休会期間中の 2026 年 1 月 31 日までに証明書をご提出ください）。

### ◎退会に関するご案内

2024 年度をもって任意退会を希望される方は下記をご確認のうえ、退会届の様式を事務局までご請求ください。

【申請条件】 2024 年度の会費を完納していること

【必要書類】 協会所定の退会届

【提出期限】 2025 年 3 月 31 日（必着）までに協会へ郵送

### ◎ WFOT（世界作業療法士連盟）個人会員の入会・退会 11 月 30 日までです！

WFOT（世界作業療法士連盟）個人会員の入会・退会手続きは、協会が代行しています。WFOT の事業年度が 1 月 1 日開始であり、それに間に合うよう手続きを行う必要があるため、入会・退会を希望される場合は 11 月 30 日までに協会事務局までご連絡をお願いいたします。

### ◎ご自身の登録情報が最新かどうかを定期的にご確認ください！

協会に登録している勤務施設は現在の職場でしょうか。協会より会員所属施設宛に郵送物等をお送りすると、既に退職済みとのことで返送されてくることがあります。また、発送先を自宅宛とご指定いただいている場合、勤務施設に関する情報が更新されず、古い勤務施設の登録が残ったままになっていることがあります。協会にご登録いただいている施設にその会員が所属しているものと判断しますので、ご自身の登録している勤務施設情報が最新であるかどうかを定期的に確認し、もし古い情報のままでしたら修正・更新をお願いいたします。

#### 【登録情報の確認方法】

協会ホームページより、会員ポータルサイトにログインし「基本情報変更」で登録情報の確認・修正が可能です。

※パスワードをお持ちでない方、忘失された方はパスワードを再発行することができます（協会ホームページ>会員ポータルサイト>パスワードを忘れた方はこちら）。





# 2024 年度第 4 回定例理事会 抄録

日 時：2024 年 10 月 19 日（土）13：01 ～ 17：31

方 法：Zoom システムによる Web 会議

出 席：山本（会長）、大庭、香山、三澤（副会長）、池田（望）、酒井、清水、関本、高島、谷川、早坂、村井（常務理事）、池田（勝）、上田、小林、島崎、高橋、竹中、辰己、土居、能登（理事）、岩瀬、澤、長尾（監事）

陪 席：仲田（委員長）、東、宮井、岡本、杉田、茂呂、岩花（事務局）

## I. 報告事項

### 1. 職務執行状況報告

- 1) 山本伸一会長 8 月 22 日、公明党において、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、3 職種のリハビリテーション専門職制度推進議員懇話会が設立された。
- 2) 大庭潤平副会長 書面報告
- 3) 香山明美副会長 刑務所での作業療法士の採用数が増加していることから、刑事施設での作業療法の役割について検討する作業療法研究会が 10 月 10 日、11 日に開催された。
- 4) 三澤一登副会長 こども家庭庁が野村総研に依頼している 1 歳 6 ヶ月、3 歳児健診の実態調査への対応、JDDnet 関連の国際ワーキングへの協力について説明した。
- 5) 酒井康年常務理事 書面報告
- 6) 関本充史常務理事 11 月 23 日のよんぱちについて、幹事会を開催し、準備を進めている。
- 7) 清水兼悦常務理事 組織率対策委員会から多くの貴重な提案をしている。各部局においては随時行動し、連絡をいただきたい。
- 8) 早坂友成常務理事 9 月 26 日に全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・本会の 3 協会が次期指定規則改正に向けた 3 回目の検討を行った。次年度に立ち上がる検討会に向けて準備を進めていく。
- 9) 高島千敬常務理事 書面報告
- 10) 谷川真澄常務理事 地域社会振興部で進めている市町村担当者配置事業について、目標配置率 60%を 9 月に達成したので、2025 年度重点活動項目の修正案を作成した。
- 11) 池田望常務理事 書面報告
- 12) 村井千賀常務理事 明石市の短期集中通所事業（サービス C）における事業委託仕様書に MTDL P の様式が使用されている件について、使用を見合わせてほしい旨、明石市に申し入れを行った。明石市からの回答を受け、さらに対応を進めている。

### 2. 委員会等からの答申・提言等

- 1) 作業療法士総合補償保険制度の見直しについて（答申）  
（仲田会員福利厚生委員会）本制度の実情から、時代に

合った補償へ保険内容の組みかえを行うことで、会員の福利厚生に一層寄与できると考え、本制度の見直し案をまとめた。

### 3. その他の報告

- 1) 日本作業療法士連盟活動報告 書面報告
- 2) （早坂常務理事）国家試験問題での「指示」と「処方」の使い分けについて、厚生労働省からの回答を説明した。

## II. 決議事項

### 1. 諸規程の整備について

- 1) 生涯教育制度関連の制度規程および細則の修正について
  - ①基礎研修制度規程（改定）
  - ②認定作業療法士制度規程（改定）
  - ③専門作業療法士制度規程（改定）（早坂常務理事）以上 3 規程について、昨年度の協会組織改編に伴い、制度規程および細則に記載されている文言の修正、並びに 2022 年度第 5 回理事会で承認された細則の変更点の修正を承認いただきたい。→承認
- 2) 学会運営の手引き（変更）（香山副会長、清水常務理事）項目 6（テーマ・プログラム）、8（出展）、14（運営委託業者）の変更を提案したが、6 は関係部局とさらに協議し、次回、再上程する。8 と 14 の変更を承認願いたい。→出された意見を踏まえて文言を修正することとして承認

2. 第 59 回日本作業療法学会（高松）のテーマ、プログラム等の概要について（香山副会長、能登理事）プログラムは、協賛と関連して、企業セミナーの設置について検討の余地がある。テーマ等現段階で決まっている概要を承認いただき、次のプロモーションに入りたい。→承認

3. 名誉会員表彰候補者の社員総会への推薦について（香山副会長）中村春基氏（会員番号 548）を当理事会として推薦し、名誉会員として承認し表彰する件を、2025 年度定時社員総会に審議上程することについて承認いただきたい。→承認

4. 作業療法士総合補償保険制度の改定について（大庭副会長）会員福利厚生委員会が 2024 年 9 月 24 日付で提出した答申書「作業療法士総合補償制度の見直しについて」を受けて、本制度の改定を提案する。→承認



5. 日本作業療法士協会におけるハラスメント防止宣言（修正案の提案）について（酒井常務理事）第1回理事会において、協会におけるハラスメント防止宣言案を提案したが、文言として十分ではないところがあったので修正案を作成した。→さらに細部の文言を修正することとして承認
6. LGBT + ガイドライン（翻訳改訂版）について（香山副会長）翻訳改訂版が完成したので審議、承認願いたい。翻訳改訂版を参考に日本版を作成するかどうか、作成する場合はどの部署が担当するかについては今後、検討したい。→承認
7. 研究倫理審査会の構成員の追加委嘱について（香山副会長）欠員の「一般の立場を代表する者1名」としての委員について、川口有美子氏の就任を承認願いたい。→承認
8. 登録作業療法士および認定作業療法士読み替えについて（山本会長、酒井常務理事、高島（〒）、早坂常務理事、竹中理事）新生涯学修制度の大方針（案）と登録作業療法士および認定作業療法士読み替え要件について提案する。→大方針（案）の表題を修正することとして承認
9. 作業療法学全書について
- 1) 作業療法学全書第4版の編集方針の変更および5巻構成について（三澤副会長）前回理事会の後、理事の意見を踏まえて改めて検討した内容を提案する。大きな変更を求める意見はなく、提案について承認を得て、作業を次の段階に進めたい。→前回理事会で決議した、全書編集委員会による理事の意見のヒアリングの場を独立して設けることが遂行されていない。このヒアリングを早急に遂行し、臨時理事会を開催して決議する。
- 2) 作業療法学全書執筆協力者に対する原稿料の支出について（三澤副会長）→1)と合わせて臨時理事会で決議する。
10. 広島県士会との覚書締結と意向聴取にかかる費用の支払いについて（香山副会長）広島県士会から「会員の個人情報の取り扱いに関する覚書」のさらなる修正提案があった。「協会員＝士会員」実現のための検討委員会が示した条件を付して承認したい。会員の意向聴取の費用について協会に支出を求める同士の会の依頼には、公平性に鑑みて応じない。→承認
11. 「大規模災害時支援活動基本指針」等に規定されている会費免除の対象について（小林理事）奥能登豪雨で被災した会員は、既に地震による会費免除を受けていても、再度会費免除申請ができるものとしたい。今後、重なる災害で被災した会員に対する会費免除については、その判断・審議の権限を災害対策本部に委譲し、同本部は判断・審議の結果を直近理事会で報告する義務を負うものとしたい。→承認

12. 第27回参議院議員通常選挙にかかる政策協定書について（山本会長）協会・連盟で共同して政策協定書（案）を作成した。協定を結んだ候補者に対し連盟が選挙応援を行う。出された意見・提案を踏まえて最終版を仕上げることにについて協会・連盟の三役に一任願いたい。→承認
13. 第27回参議院議員通常選挙に向けての田中昌史議員の推薦について（山本会長）協会として、2018年8月理事会で確認された協会方針に基づき、2025年7月（予定）の参院選で田中議員を推薦すること、併せて田中議員の全国後援会への入会＝後援会名簿への記入を促進することについて承認願いたい。→承認
14. その他

### Ⅲ. 審議事項

1. 2025年度予算の申請状況について（大庭副会長）予算組みが収入予測を約8,700万円超過している。今後、経営戦略会議としての常務理事会・三役会、各部署へのヒアリングも実施し、5ヵ年戦略該当事業および2025年度重点活動項目を優先しつつ、大所高所から事業全体を検討する。12月理事会で第1回予算審議を行う。→継続審議
2. 委員会組織の見直しについて（大庭副会長）2027年度に検討機能と実行機能の新体制に完全移行する。それに向けて、現状の委員会の設置の必要性を検討するため、4つの判断基準を整理した。12月理事会を経て、遅くとも2月理事会までに一定の結論を得たい。→継続審議
3. 協会運営・理事活動・理事会等諸会議のあり方に関する提案（第一報）について（香山副会長、島崎理事）協会運営・理事活動・理事会等諸会議のあり方について、9月実施の理事アンケートの結果を踏まえて課題と方策案を整理し、提案（第一報）として報告する。これに対する意見を10月中旬にいただき、12月理事会までに提案（第二報）を作成したい。→継続審議
4. その他
- （大庭副会長）2021年に誘致したAPOTC第8回の準備作業は、物価・人件費高騰のなか、何とか工夫しながら最終的な結めの段階に入った。34ヵ国の作業療法士が集まり、交流のまたとない機会である。理事の参加、また周囲への声かけを期待している。
- （村井常務理事）国の在宅医療・介護連携推進会議があり、研修会の資料を入手した。かかりつけ医の機能や、国が在宅医療・介護連携で何をしようとしているか等、情報を得るべく一読いただけると幸いである。
- （山本会長）業務過多で疲弊している事務局員が多い。可能であれば会議への出席をなくすなど、業務量の削減について担当理事に検討いただきたい。



## 各部・室の動き

### 地域社会振興部

#### ● 2024 年度第 2 回協会長・士会長会議について

今年度第 2 回目となる協会長・士会長会議を 9 月 21 日・22 日にハイブリッドで開催しました。山本伸一会長が協会活動、他団体への渉外活動、行政要望や政治活動の重要性等について話されました。そのほか、協会から都道府県作業療法士会への発信に加え、士会と協会の共通課題となっている組織率向上、強化に関する課題や士会での組織運営の工夫等について、組織率対策委員会からの現状報告や 2 士会からの実践の紹介を受けて、グループでの活発な意見交換を行い、今後の活動に活かしていくヒントを共有しました。

#### ● 2024 年度第 2 回地域支援事業会議について

地域事業支援課地域包括ケア推進班は、今年度第 2 回目となる地域支援事業会議を 10 月 5 日・6 日にハイブリッドで開催しました。本会の 2025 年度重点活動項目が地域社会振興部の目標と合致していることや、市町村担当者配置状況について 2025 年度の目標数値としていた配置率 60%を超えたこと等が

共有され、さらに先駆的な取り組みについてのレクチャーやグループワークを通して、地域性や士会の特徴に合わせた地域での作業療法士の活動の指針や基盤を学ぶ場となりました。また、課内の初の試みとして横の連携を意識した課内の班（運転と地域移動推進班、スポーツ振興班、認知症対策班）からそれぞれの活動が紹介され、今後の連携につなげることが重要であることを共有しました。

#### ● 災害対策担当者による士会 - 協会情報交換会について

能登半島地震以降、会員の防災や災害対策への意識の向上を受けて、災害対策課は 10 月 26 日に初の試みとして士会の災害対策担当者を対象とした士会 - 協会情報交換会を開催しました。能登半島地震における対応の実状として石川県士会の災害担当者に現状をお話いただき、他士会の現状も交え、意見交換をしながら平時からの備えやその組織づくりの重要性を共有しました。

### オンラインイベント

**2024.12/1 (日)**  
14:00-15:30



### テーマ

**家庭と仕事を『楽しく』両立するために  
できることを考えてみよう**

### 話し手

かがやきプロジェクト  
メンバー

星野藍子, 川口悠子, 吉原絵理

### 対象

日本作業療法協会会員 / 作業療法学生

**参加費  
無料**

**zoom  
開催**

**顔出し  
不要**

**配信  
あり**

**申込み  
フォーム**



**11/27  
まで**

● 両立の大変さを共有しながら、それも『楽しく』やり過ごせるように考えてみませんか？  
女性会員が活用しやすい協会の制度やコンテンツも紹介予定です！

● 日々楽しく両立できている方には更なるパワーを、忙しさに圧倒されている方には心のゆとりを、今後ライフイベントを迎える方には両立への希望を感じてもらえるイベントです。

● 男性会員、女性会員を支える管理職、学生さんの参加も大歓迎です！

**たくさんのご参加を  
お待ちしております！**



## 2024 年度 協会主催研修会案内

開催が決定しているもの、調整中のものを下記に記載いたします。状況により変更があることもご承知おきください。

必ず、最新情報・お申込みにあたっての注意事項について協会ホームページの研修会ページ  
(<https://www.jaot.or.jp/kenshuukai/>)にてご確認ください。

\*は新規掲載、もしくは情報が更新されたものです。

※研修会の申し込みは、2024年度会費の納入後に行っていただきますようお願いいたします。

※既にお知らせしておりますとおり、協会システムの更新に伴い研修会のお申込みができない期間がございます。予めご了承ください(詳細は協会ホームページ等でお知らせします)。



▲研修会ページ

### 認定作業療法士取得研修 共通研修

講座名に付された丸数字は日程順に附番しており、内容の違いを示すものではありません。同名講座を複数履修する必要はありません。

| 講座名                  | 日程(予定を含む)            | 定員数 |
|----------------------|----------------------|-----|
| * 管理運営⑧<br>※対面の可能性あり | 2025年1月25日(土)～26日(日) | 45名 |

### 認定作業療法士取得研修 選択研修

講座名に付された丸数字は日程順に附番しており、内容の違いを示すものではありません。同名講座を複数履修する必要はありません。

| 講座名         | 日程(予定を含む)            | 定員数 |
|-------------|----------------------|-----|
| 老年期障害の作業療法④ | 2025年1月18日(土)～19日(日) | 60名 |

### 専門作業療法士取得研修

基礎研修:受講要件はありません。臨床経験や認定取得状況にかかわらず、入会後臨床1年目から受講可能です(高次脳機能障害は除く)。

| 講座名                | 日程(予定を含む)            | 定員数 |
|--------------------|----------------------|-----|
| 専門取得研修(高次脳機能障害)基礎Ⅱ | 2025年2月22日(土)～23日(日) | 40名 |
| 専門取得研修(高次脳機能障害)応用Ⅰ | 2025年1月25日(土)～26日(日) | 7名  |
| * 専門取得研修(認知症)基礎Ⅲ   | 2025年2月8日(土)～9日(日)   | 40名 |
| 専門取得研修(訪問)基礎       | 調整中                  | 調整中 |
| 専門取得研修(訪問)応用       | 調整中                  | 調整中 |
| 専門取得研修(認知症)応用      | 調整中                  | 調整中 |
| 専門取得研修(特別支援教育)     | 調整中                  | 調整中 |

### 養成教育関連研修

講座名に付された丸数字は日程順に附番しており、内容の違いを示すものではありません。同名講座を複数履修する必要はありません。

| 講座名                 | 日程(予定を含む)     | 定員数 |
|---------------------|---------------|-----|
| 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会③ | 調整中           | 調整中 |
| 臨床実習指導者実践研修会③       | 2025年1月11日(土) | 60名 |

| 作業療法重点課題研修                                                    |               |      |
|---------------------------------------------------------------|---------------|------|
| 講座名                                                           | 日程(予定を含む)     | 定員数  |
| 講座名に付された丸数字は日程順に附番しており、内容の違いを示すものではありません。同名講座を複数履修する必要はありません。 |               |      |
| 国際的人材育成セミナー<br>グローバル活動セミナー                                    | 2025年1月19日(日) | 30名  |
| 障害を持つ子どもの家族支援における<br>作業療法                                     | 2025年1月19日(日) | 60名  |
| 教員と臨床教育者のための<br>MTDLP教育法②                                     | 2025年1月26日(日) | 100名 |
| 2024年度 支援機器開発人材育成研修会                                          | 調整中           | 調整中  |

| 認定作業療法士研修会                          |                    |     |
|-------------------------------------|--------------------|-----|
| 講座名                                 | 日程(予定を含む)          | 定員数 |
| * 認定作業療法士研修<br>～指導的職員・職場リーダー育成について～ | 2025年2月1日(土)～2日(日) | 30名 |

| e ラーニング講座                                                                                            |                             |          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|----------|
| eラーニングシステムを使用します。各講座の申込期間について、詳しくは会員ポータルサイトをご確認ください。<br>※eラーニング講座に定員はありません。<br>今回が2024年度最終視聴期間となります。 |                             |          |
| 講座名                                                                                                  | 日程(予定を含む)                   | 申込締め切り   |
| * 専門作業療法士(認知症)取得研修 基礎Ⅰ                                                                               | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |
| * 専門作業療法士(認知症)取得研修 基礎Ⅱ                                                                               | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |
| * 専門作業療法士(高次脳機能障害)取得研修 基礎Ⅳ                                                                           | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |
| * 専門作業療法士(摂食嚥下)取得研修 基礎Ⅰ                                                                              | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |
| * 専門作業療法士(摂食嚥下)取得研修 基礎Ⅱ                                                                              | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |
| * 専門作業療法士(摂食嚥下)取得研修 基礎Ⅲ                                                                              | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |
| * 専門作業療法士(摂食嚥下)取得研修 基礎Ⅳ                                                                              | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |
| * 専門作業療法士(訪問)取得研修 基礎Ⅰ                                                                                | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |
| * 専門作業療法士(がん)取得研修 基礎Ⅰ                                                                                | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |
| * 専門作業療法士(がん)取得研修 基礎Ⅱ                                                                                | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |
| * 専門作業療法士(特別支援教育)取得研修 基礎Ⅱ-1                                                                          | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |
| * 専門作業療法士(脳血管障害)取得研修 基礎Ⅱ                                                                             | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |
| * がん・非がんの緩和ケア～作業療法実践に必要な緩和ケアの知識～                                                                     | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |
| * 英語での学会発表 抄録・ポスター・スライド作成はじめて講座                                                                      | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |
| * 地域ケア会議に資する人材育成研修                                                                                   | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |
| * 自動車運転と作業療法                                                                                         | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |
| * 子育て・介護を担う女性作業療法士の働き方                                                                               | 2025年1月10日(金)～2025年3月10日(月) | 12月5日(木) |



## 生涯教育講座案内【都道府県作業療法士会】

| 現職者選択研修 |                |       |          |        |                 |                                |
|---------|----------------|-------|----------|--------|-----------------|--------------------------------|
| 講座名     | 日程             | 主催県士会 | 会場       | 参加費    | 定員              | 詳細・問い合わせ先                      |
| * 身体障害  | 2024年11月17日(日) | 栃木県   | Web開催    | 4,000円 | 50名             | 詳細は、各都道府県作業療法士会ホームページをご参照ください。 |
| 発達障害    | 2024年11月24日(日) | 熊本県   | Web開催    | 4,000円 | 40名             |                                |
| 身体障害    | 2024年12月1日(日)  | 広島県   | 対面研修     | 4,000円 | 80名             |                                |
| 発達障害    | 2024年12月1日(日)  | 鹿児島県  | ハイブリッド開催 | 4,000円 | 対面60名<br>リモート未定 |                                |
| * 精神障害  | 2024年12月7日(土)  | 福井県   | Web開催    | 4,000円 | 50名             |                                |
| 発達障害    | 2024年12月8日(日)  | 神奈川県  | Web開催    | 4,000円 | 50名             |                                |
| 老年期     | 2024年12月8日(日)  | 岡山県   | Web開催    | 4,000円 | 50名             |                                |
| 老年期     | 2024年12月14日(土) | 鳥取県   | 対面開催     | 4,000円 | 50名             |                                |
| 老年期     | 2024年12月15日(日) | 三重県   | ハイブリッド開催 | 4,000円 | 50名             |                                |
| 身体障害    | 2024年12月15日(日) | 山口県   | Web開催    | 4,000円 | 80名             |                                |
| * 精神障害  | 2024年12月22日(日) | 富山県   | Web開催    | 4,000円 | 40名             |                                |
| 老年期     | 2025年2月2日(日)   | 神奈川県  | Web開催    | 4,000円 | 50名             |                                |
| * 精神障害  | 2025年2月2日(日)   | 長崎県   | ハイブリット開催 | 4,000円 | 未定<br>(100名程度)  |                                |
| 老年期     | 2025年2月16日(日)  | 宮崎県   | ハイブリッド開催 | 4,000円 | 40名             |                                |

※現職者選択研修の受講には、日本作業療法士協会への入会とともに、各都道府県士会への入会も必要です。所属士会以外で受講される場合には、開催士会から所属士会へ入会状況の確認をさせていただくことがありますので、ご了承のうえ、お申込みください。

■ 詳細は、日本作業療法士協会のホームページをご覧ください。

■ 協会主催研修会の問い合わせ先 電話：03-5826-7871 FAX：03-5826-7872 E-mail：ot-kenshu@jaot.or.jp



## 催物・企画案内

### 日本精神科医学会学術教育研修会 作業療法士部門

テーマ：地域とつながる実践力

～多様性と専門性を期待する精神科作業療法～

日 時：2024. 11/21 (木)・22 (金)

会 場：松山市総合コミュニティセンター

お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。  
<https://www.nisseikyo.or.jp/education/kenshuukai/gakujutsukenshu/>

### 2024 年度臨床精神科作業療法研究会研修会

テーマ：福島県浜通り相双地域 メンタルヘルス分野で働く OT 達の今

～被災地で人と地域と向き合いながら～

日 時：2024. 11/23 (土)・24 (日)

会 場：南相馬市民情報交流センター (ハイブリッド開催)

お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。  
<https://seisinot.blogspot.com/>

### 第 36 回 ベルテル教育セミナー

テーマ：コミュニケーションの土台作りと将来を見据えた関わり方

日 時：2024. 12/3 (火) Web 開催

お問合せ：一般社団法人チャイルドライフ 教育研修部  
[edu@childlife.gr.jp](mailto:edu@childlife.gr.jp)

### 第 6 回 神奈川県臨床作業療法大会

テーマ：Communication ～再考×再考～

日 時：2024. 12/8 (日)

会 場：国際医療福祉大学 (小田原校)

お問合せ：第 6 回神奈川県臨床作業療法大会事務局  
[riha@sankikai.or.jp](mailto:riha@sankikai.or.jp)

### 日本健康科学学会 第 39 回 学術大会

テーマ：健康寿命の延伸

～超高齢社会における健康科学の役割～

日 時：2024. 12/14 (土)

会 場：全国町村会館 2 階ホール

お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。  
<https://www.jshs.info/>

### 日本精神障害者リハビリテーション学会

#### 第 31 回 東京お台場大会

テーマ：多様性と調和～お台場シティで調う～

日 時：2024. 12/14 (土)・15 (日)

会 場：東京有明医療大学

お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。  
<https://www.ksi21.com/japr31/index.html>

### 第 19 回 日本シーティング・シンポジウム

テーマ：研究と臨床の成果を明日の実践へ

日 時：2024. 12/14 (土)・15 (日)

会 場：東京都立大学 荒川キャンパス

お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。  
<https://seating-consultants.org/19thjssc/>

### 日本精神衛生学会第 40 回大会

テーマ：若者のメンタルヘルス

—今後に向けて学会 40 年を振り返る—

日 時：2024. 12/14 (土)・15 (日)

会 場：創価大学

お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。  
<https://jamh40th.jimdofree.com/>

### 心理オフィス K オンラインセミナー

テーマ：投映法による心理アセスメント入門

日 時：2024. 12/15 (日) Web 開催

お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。  
<https://s-office-k.com/product/semi-projective-method-test>

参 加 費：5,000 円

### 第 25 回 計測自動制御学会

#### システムインテグレーション部門講演会

テーマ：サステナブルな社会を目指す  
 システムインテグレーション

日 時：2024. 12/18 (木)～20 (金)

会 場：アイーナ いわて県民情報交流センター

お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。  
<https://sice-si.org/si2024/>

### 第 46 回 総合リハビリテーション研究大会

テーマ：障害者就労の現状と課題～近未来のために～

日 時：2024. 12/20 (金)・21 (土)

会 場：千里ライフサイエンスセンター 5 階 山村雄一記念  
 ライフホール

お問合せ：詳細は下記 URL をご覧ください。  
<https://rehab-hp.normanet.ne.jp/>

参 加 費：一般 3,000 円 学生 1,000 円 (介助者等の参加費は無料)

#### 「催物・企画案内」の申込先

[kikanshi@jaot.or.jp](mailto:kikanshi@jaot.or.jp)

掲載の可、不可についてはご連絡致しませんことをご理解ください。また、2 号以上の掲載はお引き受けいたしかねます。なお、原稿によっては割愛させていただく場合がございますので、ご了承ください。





## 日本作業療法士連盟だより

連盟ホームページ▶<https://www.ot-renmei.jp/>

### 政策の実現に向けて

日本作業療法士連盟監事 古川 宏



作業療法士の要望事項を実現するためには、厚生労働省要望書を提出したり、政治家を通じて国会で話題にもらい、議員立法や大臣答弁で各省庁に検討してもらおうといったステップを踏む必要があります。政治家にとっては一般社団法人日本作業療法士協会（以下、協会）の会員数は魅力的な数ですが、協会は作業療法士の国家資格をもっていることを条件として集まっている会なので政治色はありません。

日本作業療法士連盟が発足する前は、選挙のたびに超党派の政党、特に医療職の立候補予定者から関係団体を通じて推薦依頼が殺到したものです。協会は作業療法士の政策協定を提案して、政策協定を結ぶことができた候補者を、党派を超えて推薦しました。しかし、総会の中では「特定の政党支持者にとっては反対党の推薦が認められない」との質問が繰り返し集中することになり、総会時間の延長が再三。総会で代議員が政治的な問題を話し合うことは困難でした。

現在、協会は厚生労働省等の関係官庁に要望書を

提出したり、関係諸団体と共同歩調をとって実情説明を行ったり、政策的な研究費を獲得して成果を行政に活かしてもらう等、正攻法で努力しています。しかし、国の医療・社会保障の政策の実現は国会での法律成立で行われるため、議員のなかに作業療法の応援者がいないと実現が難しいのも事実です。作業療法士のなかには政治と距離を置くことを良しとする人が多いですが、必要な法律作成段階で声が届かないことには作業療法の将来への影響は必至です。

政治活動のできる日本作業療法士連盟の重要性は、この点にあります。協会の役員経験者で日本作業療法士連盟に加入している方々は、政治との結びつきが日々の作業療法の実践に密接にかかわっていることを知っていて、協会との密接な連携のもと、リハビリテーション議員連盟の議員や理学療法士の参議院議員、そのほか地元の議員の集会等に積極的に参加しているわけです。若い方々の加入をお待ちしています。

### 医療福祉eチャンネルで、見て学ぶ作業療法



一般社団法人 日本作業療法士協会  
会長 山本 伸一

#### 1 講座1.5時間の単位認定番組

※日本作業療法士協会会員ポータルサイトに反映

#### ●現職者共通研修 [8番組]

#### ●生活行為向上マネジメント [基礎編]

医療福祉eチャンネル(<https://www.ch774.com/>)での単位認定には「履修登録」「受講管理料」が必要となります。詳しくは「日本作業療法士協会員の皆さまへ」をご覧ください。



#### 燃えよ、作業療法士！～日本の明日の作業療法を革新する～

好評配信中

作業療法士の支援力が求められる中、各地域の課題や、それらの解決に関わる取組を学びます。(全15回)  
第9回「災害支援活動における作業療法士の役割と対応を考える」

講師：今野 和成氏（総合病院国保旭中央病院 診療技術局リハビリテーション科 作業療法士長補佐）



## 本誌について重要なお知らせ

### 第 154 号は 電子書籍として発行いたします

2023 年度第 7 回定例理事会(2023 年 2 月 17 日開催)におきまして、2024 年 9 月 15 日発行の第 150 号(9 月号)、2025 年 1 月 15 日発行予定の第 154 号(1 月号)は電子書籍版のみの発行とし、会員の皆様に配信することが承認されました。

「会員全員に向けて協会の情報を確実に配信する」「賛助会員、関連団体・関連省庁に本会の情報をお伝えする」という本誌の責務から冊子体の発行を継続してまいりました。一方で、時代の趨勢として電子書籍の利用が一般的となり、かねてより「機関誌を電子書籍化してほしい」といったご意見も多数いただいております。

そこで、今年度は第 150 号と第 154 号の 2 冊を電子書籍版のみの発行とすることで、今後の完全電子化に向けての試験的な試みといたします（なお、賛助会員、関連団体・関連省庁への配布は冊子体にて行います）。

これまでの PDF 版とは異なり、ページをめくる閲覧形式を取り、簡易的な本文検索機能などを付与する予定です。また、特に強調したい記事については、別途 Web ページを設けてモバイルデバイスでも読みやすくいたします。

電子書籍の可読性、特にモバイルデバイスでの読みやすさについては、なお多くの課題がございます。まずは第 150 号と第 154 号の電子書籍版をご覧いただき、可読性や機能等について会員の皆様の忌憚ないご意見を賜れますと幸いです。

なお、発行のご案内は会員管理システムに登録されているメールアドレスに配信いたします。ご登録のメールアドレスが使用可能なものか、ご確認ください。

会員の皆様のご理解のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

●機関誌についてのご意見をぜひお寄せください

制作広報室 機関誌担当 kikanshi@jaot.or.jp

## 編集後記

事務局には、関連団体から機関誌や広報誌、ポスターやパンフレット、催事のご案内が届きます。凝ったデザインのカラフルなもの、モノクロで淡々とした紙面のもの、見た目はほんとうにさまざまですが、手に取って内容に目を通す個人的な決め手は「読みやすさ」「デザインの良さ」です。読みやすさは、まず、フォント、文字や行の間隔、余白の取り方、レイアウト等ぱっと見て伝わるものが第一段階、ここで文章を読むかどうかが分かれて、次に読み始めてみて、文章の長さ、ひらがなと漢字のバランス、句点の入れ方等で内容が頭に入ってくるかどうかが決まります。デザインは、目を惹くかどうかもありますが、その媒体の目的とデザインがフィットしていると、良いデザインだな、という印象を受けているように思います。以上は読み手目線ですが、機関誌や協会の広報媒体にかかわっていると、思わず製作者目線で見てしまうことも多々。「これつくるの時間もお金もだいぶかかったらうな」「2色刷りで予算は抑えつつ上手に見せてセンスがいいな」等々。いろいろな媒体を読み解きながら、協会としての「伝える」「伝える」を考えていきたいと思います。

(遠藤)

本誌に関するご意見、お問い合わせがございましたら下記までご連絡ください。

E-mail [kikanshi@jaot.or.jp](mailto:kikanshi@jaot.or.jp)

### ■ 2023 年度の確定組織率

53.7% (会員数 61,015 名 / 有資格者数 113,649 名\*)

※ 2024 年度は会員数がまだ確定していないため組織率の算定ができません。当協会の最新の組織率としては、理事会の承認を得て確定した 2023 年度の会員数に基づくこの数値をご利用ください。

### ■ 2024 年 10 月 1 日現在の作業療法士

有資格者数 118,471 名\*

会員数 62,821 名

社員数 257 名

認定作業療法士数 1,649 名

専門作業療法士数 (延べ人数) 158 名

### ■ 2024 年度の養成校数等

養成校数 204 校 (207 課程)

入学定員 7,625 名

※ 有資格者数の数値は、過去の国家試験合格者数を単純に累計した数に、本会が把握し得た限りでの外国で取得した免許から日本国免許へ切り換えた者を加え、2023 年度までの死亡退会者数 (296 名) を除いた数として示していますが、免許証の未登録、取り消し、本会が把握し得ない死亡その他の理由による消除の結果生じた減数分は算入されていません。

### 日本作業療法士協会誌 (毎月 1 回発行)

#### 第 152 号 2024 年 11 月 15 日発行

□ 発行人: 山本 伸一

□ 制作広報室

室長: 東 祐二

担当: 宮井 恵次、遠藤 千冬、岩花 京太郎、大胡 陽子

□ 制作・印刷: 株式会社サンワ

□ 発行 一般社団法人 日本作業療法士協会

〒111-0042 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル

TEL.03-5826-7871 FAX.03-5826-7872

E-mail [kikanshi@jaot.or.jp](mailto:kikanshi@jaot.or.jp) 協会ホームページ <https://www.jaot.or.jp/>

□ 求人広告: 1/4 頁 1 万 3 千円 (賛助会員は割引あり)



● 協会ホームページに  
機関誌の電子版を掲載しています

はじまります！



誰もが主役 多様な協会へ

quota  
system

日本作業療法士協会

日本作業療法士協会にとっての会員は「誰もが主役」です  
誰もが安心して作業療法士として働き 学び 成長し続けられるために  
協会は多様な意見を反映するための多様な役員組織を作ろうとしています

次期役員選挙では その第一歩として  
「ジェンダーに着目した候補者クオータ制」が導入されます  
「ジェンダーに着目した候補者クオータ制」では 役員選挙の立候補者のうち  
女性および男性それぞれの立候補者が<sup>1</sup>  
理事ならば8名以上 監事ならば1名以上必要となります<sup>2</sup>

あなたの大切な言葉や行動が 未来の私たちを後押ししてくれます  
そして あなたの日々の経験こそが 協会活動には必要です  
ぜひ一緒に 作業療法士の未来を創っていきませんか？

1 日本作業療法士協会に登録された性別を用います（性別は自己選択が可能です）

2 理事および監事の定員のうちそれぞれの性別が3割以上となることが条件となっています（役員選出規程）

一般社団法人 日本作業療法士協会

<http://www.jaot.or.jp/>

「誰もが主役 多様な協会へ」推進チームの詳細はこちらから▷





2024年11月15日発行 第152号